



## 白川口駅のあゆみ

- 大正15年 白川口駅が開駅
- 昭和33年 駅内に売店が完成。  
鉄道弘済会の経営で、お菓子やお土産、新聞などを販売
- 昭和36年 準急ひだ号の白川口駅停車が実現し、交通の利便性が一層高まる
- 昭和39年 跨線橋が完成し、駅構内での危険解消に役立つ

白川口駅乗降人員のピーク時は1日あたり約1,140人

- 昭和46年 駅内ホームで、白川茶の宣伝を兼ねて新茶サービスを行う
- 平成24年 JRからの業務委託を受け、町が乗車券類の発売業務を始める
- 令和8年 開駅100周年を迎える

詳細 | 木造平屋建・間口九間・奥行三間・附属建物として倉庫二棟



### みんなで祝う

# 町のシンボル

大正15年3月。地域の人々の夢を乗せて、高山本線の開通とともに「白川口駅」と「白川橋」は誕生しました。以来、この場所で一世紀にわたり町の交通を支え、多くの出会いと別れを見守り続けてきました。

令和8年3月、共に100周年という大きな節目を迎えます。今月号では、私たちの町の歩みを支えてきた、二つのシンボルの100周年を振り返ります。

100th Anniversary

# 白川橋 × 白川口駅

## 町民の方にインタビュー

あの頃の橋、駅。

みんなの思い出話

※世界一白川橋を撮ってる男



河岐神社の隣にあったそろばん塾の帰りに、友達と白川橋を渡って一力屋(丹羽新聞店)さんに通った時間は、今も大切な思い出です。高校時代の通学で利用した白川口駅には、当時はキオスクもありました。大人になってからは、改めて白川橋の美しさに惹かれて写真を撮ったり、「ちーオシ」の活動で橋をモチーフにしたオブジェを制作したり。また、橋を盛り上げるために発行した「御橋印」も、非常に印象深い活動の一つです。子どもの頃から今に至るまで、この橋はいつも私の身近にあります。

私にとっての白川橋は、高校時代、毎朝電車の時間に間に合うよう、なりふり構わずダッシュで駆け抜けた青春の舞台です。でも、帰りの電車からライトアップされた橋が見えてくると、不思議と心が穏やかになり「帰ってきた」と実感できました。かつて駅にあった売店の佇まいや、高校の友人たちが「駅前のかつ丼を食べたい!」とわざわざ電車に乗って遊びに来てくれた賑やかな一日は、今も色あせない大切な思い出です。

浅井慶子さん

高校時代の白川口駅は、中学の友達とばったり会ってお喋りしながら帰れる楽しい場所でした。その時々時間帯で会えるメンバーが変わるのも、毎日の楽しみだったと思います。アルバイトで帰りが遅くなった夜、暗闇の中にライトアップされた白川橋が見えてくると、「白川に帰ってきたんだな」とホッとしたものです。あの時ふと感じた景色の美しさは、今も大切な思い出として心に残っています。

山口智哉さん



飛泉橋ができる前の白川橋は、車も通るし、床も木製でガタガタ大きな音がしとったんです。大きなバスが道幅いっぱいに通るときは「落ちんかな」って心配したほど。橋の近くで商店をやっておったもんで、子どもたちが橋を渡って買いに来てくれたことが、今では懐かしい思い出。当時、仕事で岐阜の郵便局へ向かう際は、毎朝6時の電車で白川口駅を利用していました。

丹羽れいさん



鈴村羽菜さん



修学旅行の朝、集合場所の白川口駅に向かってワクワクしながら白川橋を渡ったのが、今でもすごく印象に残っています。進学してからは、バラバラの学校に通う友達と駅でばったり会って、一緒にこの橋を渡りながらおしゃべりできる時間が本当に嬉しいです!朝の駅周辺は送迎の車で渋滞するので、橋の手前で降りてもらって、歩いて駅まで行ったりもしていました。白川口駅は駅員さんがいて切符も買えるので、子どもの頃からずっと身近で安心できる場所です。駅員さんの優しい対応も大好き。最近はデジタルサイネージで町の情報がすぐチェックできるようになったのも、すごく便利でいいなと思っています。

## 白川橋のあゆみ

- 大正15年 白川橋が架橋 **PICKUP.1** **PICKUP.2**  
鋼トラス構造は当時全国的にも珍しく、技術的にもデザイン的にも貴重な橋
- 昭和35年 飛泉橋の完成に伴い、歩行者と二輪車の通行に限定される
- 昭和53年 木床版から鋼デッキプレートとコンクリートの合成床版に改築
- 昭和63年 維持管理が岐阜県から白川町へ移管される
- 平成2年 イメージアップのため、ライトアップをスタート **PICKUP.3**
- 平成18年 歴史的施設としての高い価値に照らして土木学会選奨土木遺産に認定
- 平成25年 国の登録有形文化財(建造物)として登録 **PICKUP.3**
- 令和8年 架橋100周年を迎え、ライトアップ設備をLED化

上部構造	橋長115.0m、全幅員4.0m、有効幅員3.4m、支間割3径間(20.3+74.4+20.3)m 主塔高さ9.68m
上部工型式	鋼トラス補剛吊橋、鋼トラス主塔(鋼塔の下部式2ヒンジ鋼補剛トラス吊橋)
下部構造	橋台:表面切石積(基礎背面重力式コンクリート)高さ左岸7.3m 右岸7.4m 橋脚:2本円錐柱門型 高さ12.5m(鉄筋コンクリート構造)



PICKUP.1

白川橋開通!



建設当初、床板には木材が用いられ、人や馬車が絶え間なく行き来していました。昭和に入ると自動車の普及が進み、白川橋は物流や交通の要として、町民の生活を支える重要な存在となりました。昭和20年代には周辺に温泉旅館が立ち並び、白川口駅で下車して橋を渡る多くの観光客で、町は大きな賑わいを見せました。

PICKUP.2

圧巻のトラス構造



吊り橋特有のしなやかさと、補剛トラスの強靱な機能美を両立させた構造こそが、白川橋の真髄です。大正期の高度なリベット技術が刻む幾何学模様は、100年の時を経た今もなお、飛騨川の景観に美しく溶け込む「鋼鉄の芸術品」といえます。

PICKUP.3

土木遺産・国登録有形文化財に認定



「土木学会選奨土木遺産」と「国登録有形文化財」、二つの顔を持つ白川橋。国内でも希少な大正生まれの鋼製吊橋で、その美しさは折り紙付きです。かつては駅と温泉街をつなぎ、今はみんなの想いで守られる町のシンボル。100年前の職人技と私たちの愛着が詰まった、世界に誇れる宝物です。

今夜、  
この場所でしか  
出会えない。

# 白川の夜を熱くする とっておきの見どころ

夜フェス



白川ワークドット協同組合  
事務局長  
新井 みなみさん

## 高校生が仕掛ける挑戦と、待望の一杯。

白川町では、町内出身の高校生が町をフィールドに、自分たちで活動内容を決め、主体的に取り組むことで探究心や企画実行力、また地域への愛着を育むプログラム「Bizラボ」を実施しています。高校生が感じる町内課題として挙げたのは、「白川の夜を賑やかにしたい」「働く場所を作りたい」という声。それを解決するために、夜フェスを開催することにしました。彼らは毎月の会議を重ね、真剣に準備を進めてきました。当日は、工夫を凝らした多彩な出店やステージが会場を彩ります。注目は、町内に店舗がない課題を解決しようと企画されたラーメンの提供です。黒川でキッチンカーを営むHida-Oyatsuさんの協力を仰ぎ、特産品を活かした一杯がついに実現します。一番の見どころは、自ら選んで動いているからこそ「生き生きとした表情」です。100年の歴史を誇る橋と駅で、若者たちが日常を特別に彩る一日。彼らの自信に満ちた姿を、ぜひ会場でご覧ください。



## 光る笠、舞う伝統。 100年の歴史が宿るステージ。

切井の伝統を絶やさぬよう、現在は町外でも認知度を高める活動をしています。戦争やコロナ禍などの幾多の困難を乗り越え、今日まで先人達がこの踊りを踊り続けてきた足跡こそが私たちの誇りです。今回は、完成100周年を迎えた「白川橋」が舞台。同じく100年の歴史を歩んできた杵振り踊りが、歴史ある場所と共鳴することに深い縁を感じています。当日は縮小版にはなりますが、照明を仕込んだ笠とカラフルな衣装を纏った踊り子にあわせお囃子の音色が会場を彩ります。この町には杵振り踊りだけではなく皆の幸せを願い、一生懸命に頑張る人がいる。その姿を見て、皆様も共感いただければ幸いです。踊る姿を見て興味を持ち、今後一緒に踊っていたら嬉しいです。100年の歴史が宿る場所で、伝統を次代へつなぐ場所になることを期待します。

杵振り踊り



切井賛助会 代表 瀬瀬 剛さん



花火 白川手筒会 理事 竹腰 哲也さん

## ライトアップ×ナイアガラ。響き合う、光の共演。

「白川町内史上最高の花火を上げる」——その言葉の裏には、50年後、100年後の未来への強い祈りがあります。今の子どもたちが次の節目を笑顔で祝い、町の花火工房やお店がこの地で仕事を続けられているように。そんな願いを込めた光のパトンです。見どころは、飛騨川では初となる白川橋からの「ナイアガラ花火」です。100周年を迎えた白川橋のライトアップと、降り注ぐ火花が織りなす絶景は、今回しか見られない特別なコントラスト。終わった後、皆さんが「この町に住んでいて本当によかった」と誇りを感じ、町外の方も「また来たい」と思えるような、一生記憶に残る一夜を届けます。



応募方法

以下のハッシュタグをつけて  
SNSで投稿してください。

#花火と白川橋

#白川橋100周年

3.28  
(土)

# 白川橋ライトアップ LED点灯式 開催!

未来へつなぐ光に。

100年の歴史を、

多くの方から寄せられた温かな寄附金により、白川町のシンボル「白川橋」が新しい光に生まれ変わります。今回のプロジェクトでは、合計58件、173万円もの多大なるご支援をいただきました。大正から令和へ、100年の節目に灯る「未来への灯り」をぜひ会場でご覧ください。

当日は、点灯の瞬間を彩る花火や、切井地区伝統の杵振り踊り、そして会場を盛り上げる夜フェスなど、特別な催しが目白押しです。ここからは、当日のタイムスケジュールと共に、プロジェクト担当者が語る熱い想いや見どころを詳しくご紹介します!

		アトラクション等	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
イベント	花火の打ち上げ								19:30~	
	杵振り踊りの披露						18:00~			
	商工振興			15:00~						
	販売ブース			15:00~						
式典	夜フェス・ステージイベント									
	除幕式・点灯式						17:30~			
	展示			14:00~						
交通整理	通行規制・シャトルバス									

●来場者ポイントの付与 ●加盟店商品の代理販売

●ガラポン抽選会

●テントブース パンショップイマイ / 農LAND BEER / 楽まる / クオーレの里 商工会青年部白川支部 / ガラパゴスカフェ

●キッチンカー 野田郷 きつね号 / Hida-Oyatsu & Bizラボ

●白川郵便局 切手及びハガキの販売 (白川橋デザインスタンプ押印)

●観光協会 御橋印の販売

16:00~ 第1部 18:30~ 第2部

チアダンス・吹奏楽の演奏・高校生バンド等

●白川橋・白川口駅の歴史展示 ●マイクラフト展示

14:00 ~ 21:00 車両通行規制

15:00 ~ 21:00 シャトルバス運行 (水戸野シダレザクラ⇄町民会館)

## 水戸野シダレザクラも ライトアップされます!

白川橋の点灯式に合わせ、県天然記念物「水戸野シダレザクラ」のライトアップもLEDへリニューアルします。環境に優しく生まれ変わった光が、樹齢400年の名桜をより鮮やかに描き出します。

当日は町民会館から便利なシャトルバスを運行します。白川橋のイベントとあわせて幻想的な夜桜を見に行きませんか? この日、この場所でもしか味わえない光の共演を心ゆくまでお楽しみください!

